



生をはじめ、町外からの参加もあり、総勢約150人による清掃作業となりました。

当日は、途中から雨が降り出すあいにくの天気となりましたが、ショベルカーやダンプカーなどの重機もフル稼働し、見違えるように、きれいになりました。

作業の後は、手作りのカレーライスが振る舞われ、すばらしい交流・奉仕作業の1日となったようでした。

「きつかったけど、きれいになってスッキリした。ボランティアは大事なことだと思う。機会があったら、また参加したい。」

(大崎第一中学校3年生・村山君)

## 『野方で三世代ボランティア』

7月8日、野方地区活性化センターとその周辺で『三世代ボランティア』が実施されました。

これは、町おこしグループ野心会（江口透会長・会員18名）が企画して毎年、行われているもので、今年で10回目を迎えました。

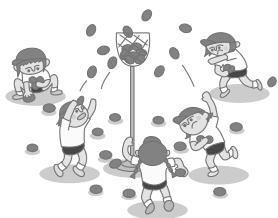
野心会では、「住みよい大崎町、環境保全活動、異年齢交流、青少年健全育成」を目的として、大崎第一中学校の部活動等の行事と重ならないように日程を調整しているとのことで、この日も全校生徒（88人）が参加していました。ほかに、同校の保護者の方々や先



競技は、玉入れや、町民体育祭でもおなじみの、第一ゲートやジャンケン大会などの全13種目で、各種目に大きな声援が送られました。

昼食前には、野方保育園の園児による、軽快なリズムに乗せた、かわいいお遊戯や、バルーンを使ったアトラクションも披露され、初めて見る競技に、大変盛り上がりました。

大会に参加したみなさま、お疲れ様でした。また来年のお越しを、お待ちしております。



## 『第23回町合同 福祉スポーツ大会を開催』

7月5日(木)、町総合体育館で「第23回大崎町合同福祉スポーツ大会」が盛大に開催されました。

この大会は、高齢者をはじめ、心身に障害を持つ人、母子寡婦家庭などの皆さんが一同に集い、スポーツを通じ、お互いの連携を深め、協調精神を培い、ふれあいの和を広げ、ぬくもりに満ちた地域社会づくりを図ろうとするものです。

当日は、町内の福祉団体、福祉施設から9団体(約300人)の参加があり、会場は熱気の渦に巻かれました。

